

古人のものの見方や考え方を読み取る学習をします。
松尾芭蕉は、訪れた場所でのようなことを感じたり考えたりしたのだろう。

言語活動
古人の考えに触れ、「芭蕉生誕三八〇年、『おくのほそ道』紀行三三五年特別企画
芭蕉の足跡をたどるツアー」のフライヤーを作ろう。

次	学習すること	学習を通して分かったこと・次の時間の課題 学習を通してできるようになったこと・役に立ったこと
一 次 ・「おくのほそ道」と芭蕉について、基礎的な事柄を理解する。 ・「おくのほそ道」の冒頭部分を音読したり暗唱したりする。		
二 次 ・ 現代語訳や脚注を参考にしながら「1」(門出)の内容をつかみ、芭蕉の考えを捉える。		
三 次 ・ 「2」(平泉)について歴史的な背景を理解しながら内容を捉え、俳句を鑑賞し、芭蕉や曾良の心情を捉える。		
四 次 ・ フライヤーを書くための準備をする。	ステップ()	
五 次 ・ フライヤーを作る。	ステップ()	
六 次 ・ フライヤーを完成する。	ステップ()	
七 次 ・ できあがったフライヤーを紹介し合い、クラスのNo.1を決める。 ・ 本単元の振り返りをする。		
学びの振り返り		